

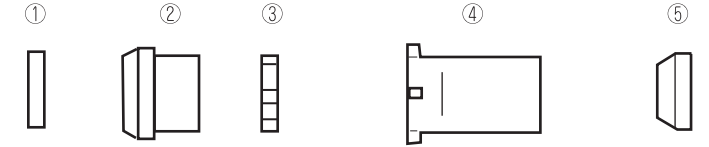
■ 交換部品/オプション

※ご注文の際には必ず品番をご連絡くださいますようお願い申し上げます。

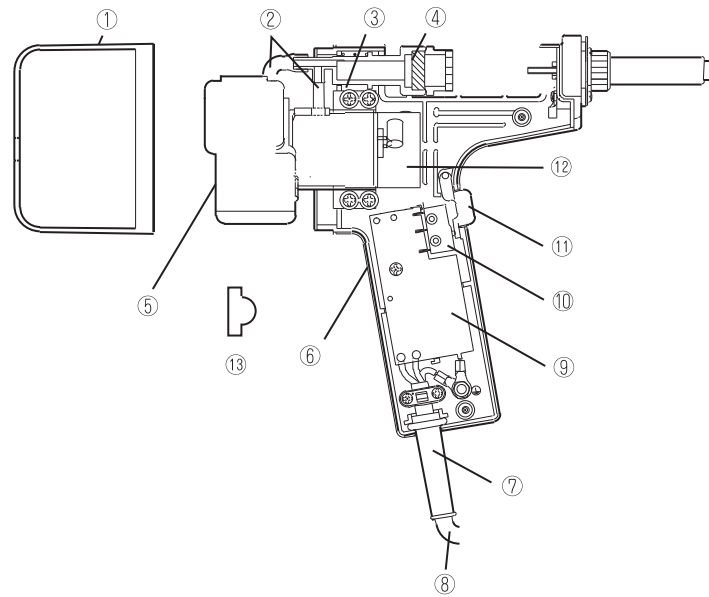
図番	品番	部品名	仕様
①	A1228	ヒーター	100V-50W
②	A1002	ノズル S型	φ 0.8mm
	A1003	ノズル S型	φ 1.0mm
	A1004	ノズル	φ 0.8mm
	A1005	ノズル	φ 1.0mm
	A1006	ノズル	φ 1.3mm
	A1007	ノズル	φ 1.6mm
③	B1723	保護パイプ	
④	B1724	袋ナット	



図番	品番	部品名	仕様
①	A1033	セラミックペーパーフィルター(L)	10ヶ入
②	B1747	フィルターホルダー	
③	A1267	アルミプレフィルター	5ヶ入
④	B1725	フィルターパイプ	
⑤	A1217	前ホルダー	



図番	品番	部品名	仕様
①	B1739	ポンプカバー	
②	B1728	内部ホース	
③	B1727	後ホルダースプリング	
④	B1726	後ホルダー	
⑤	B1729	ポンプ組品	
⑥	B1743	ハウジング	
⑦	B1341	コードブッシュ	
⑧	B1740	電源コード	ゴム、二極接地型
	B1793	電源コード	ゴム、平型プラグ付
⑨	B1738	基板	100V温度制御用
⑩	B1741	マイクロスイッチ	
⑪	B1742	トリガー	
⑫	B1744	基板	100Vモーター用
⑬	B1879	フタ	CAL用

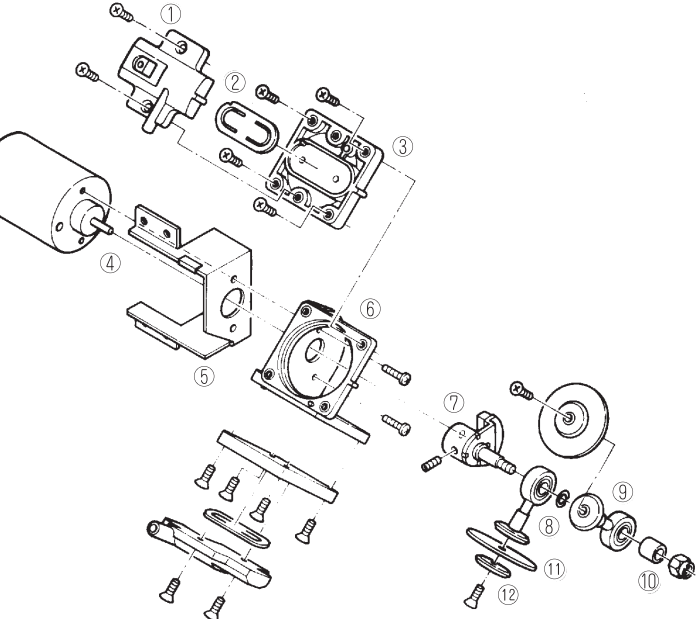


品番	部品名	仕様
B1215	クリーニングピン	ヒーター用
B1086	クリーニングピン	ノズル φ 0.8用
B1087	クリーニングピン	ノズル φ 1.0用
B1088	クリーニングピン	ノズル φ 1.3用
B1089	クリーニングピン	ノズル φ 1.6用
B1302	クリーニングドリル	ノズル φ 0.8用 (ドリル径 φ 0.7)
B1303	クリーニングドリル	ノズル φ 1.0用 (ドリル径 φ 0.9)
B1304	クリーニングドリル	ノズル φ 1.3用 (ドリル径 φ 1.2)
B1305	クリーニングドリル	ノズル φ 1.6用 (ドリル径 φ 1.5)
B1306	ドリルホルダー	ノズル φ 0.8用、φ 1.0用
B1307	ドリルホルダー	ノズル φ 1.3用、φ 1.6用
B1308	ドリル	ノズル φ 0.8用
B1309	ドリル	ノズル φ 1.0用
B1310	ドリル	ノズル φ 1.3用
B1311	ドリル	ノズル φ 1.6用
B1356	変換プラグ	
B3048	レンチ	
C1099	キャリングケース	808 こて用
C1100	こて台	808 こて用
A1042	クリーニングスポンジ	

品番	φ A	φ B
A1002	0.8 mm	1.8 mm
A1003	1.0 mm	2.0 mm

品番	φ A	φ B
A1004	0.8 mm	2.3 mm
A1005	1.0 mm	2.5 mm
A1006	1.3 mm	3.0 mm
A1007	1.6 mm	3.0 mm

図番	品番	部品名	仕様
①	B1732	弁押さえ	
②	A1231	弁	2ヶ入
③	B1731	ポンプヘッド	
④	B1737	モーター	コンデンサ付
⑤	B1736	モーター取付金具	
⑥	B1734	フレーム	
⑦	B1735	クランク軸	
⑧	B1746	リング	ベアリング用
⑨	B1913	クランク	
⑩	B1745	スペーサー	
⑪	A1230	ダイヤフラム	2枚入
⑫	B1730	ダイヤフラム押さえ	ねじ付



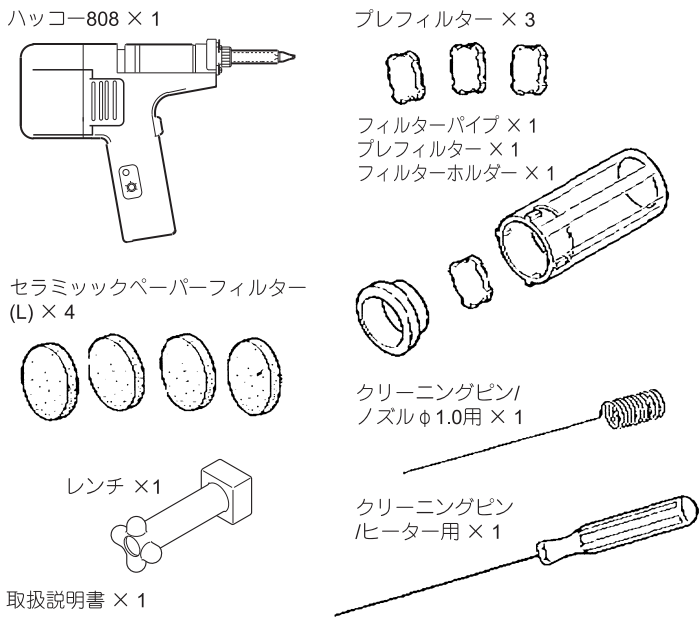
HAKKO 808

はんだ除去器

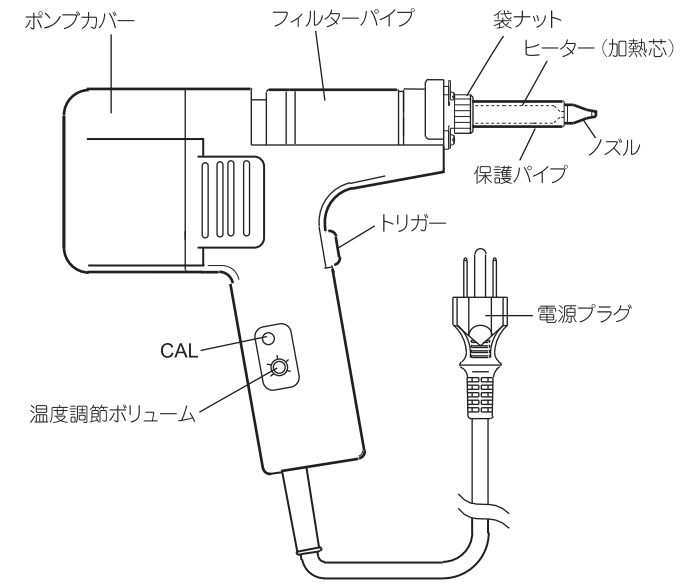
取扱説明書

このたびはハッコー808をお買い求めいただき
まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ず本書をお読みください。
また、お読みになった後も大切に保管しておいてください。

■ セット内容



■ 各部名称



■ 安全及び取扱い上のご注意

- ハッコー808は、基板などにはんだ付けされた部品を取り外すために、はんだを溶かして吸引する電気工具です。この用途以外でのご使用は製品の損傷、破壊だけでなく事故を引き起こす恐れもあり、危険ですので行わないでください。
- 床に落とすなど、過度の衝撃は、破損、故障、性能低下の原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- はんだ除去器は各部が常に高温にさらされているため、メンテナンスを正しく行う必要があります。本書の「メンテナンス」をよくお読みの上、消耗部品の交換、指定箇所のクリーニングを適宜に行ってください。
- 高温につき危険
ノズル先端部は380～480℃にまで達し、その周辺部も非常に高温となり危険です。取扱いには十分ご注意ください。
 - 使わない時や放置する場合には、電源を抜いてください。
 - 通電したままで、燃えやすいもののそばに放置しないでください。
 - 収納する時は、十分冷ましてから収納してください。
 - 高温のはんだ、などが飛び散る恐れがあり危険ですので、振り回したりしないでください。
 - 第三者が周囲にいる時には、高温につき危険であることを知らせた上で、十分注意してご使用ください。
- 交換部品にはハッコー808の純正部品をご使用ください。純正部品以外の用は性能低下や故障、事故の原因となります。
- 本品は日本国内向けに製造しておりますので、日本国内にてご使用ください。国外でのご使用をお考えの場合はご相談ください。

- ポンプが動かない場合、まずノズル及びヒーターのクリーニング、フィルターの交換を行ってください。モーターの焼損を防ぐため、モーターが一定の温度を超えると保護回路（サーマルプロテクター）が働き、モーターの温度が低下するまでポンプは働きません。長時間使用される場合は、3秒間トリガーを引いたら（モーターON）、10秒間休止（モーターOFF）の間隔でご使用ください。

■ 仕様

品名	ハッコー808
定格	AC100V 70W 50/60Hz
ヒーター	50W(セラミックヒーター)
モーター出力	6.5W
温度設定範囲	380～480℃
ノズル・アース間の電位差	2 mV以下(二極接地型仕様のみ)
ノズル・アース間の抵抗	2 Ω以下(二極接地型仕様のみ)
真空発生方式	ダブルシリンダー式ダイヤフラムポンプ
到達真空圧力	600mmHg
吸込流量	10l/min
外形寸法	170(H) × 235 (W)mm
重量	420g
標準ノズル	φ 1.0mm 品番 A1005

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

■ 使用方法

①準備

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。(100V)
- ノズルおよび加熱芯(ヒーター内部)が十分熱せられるまで、5分間お待ちください。

ノズル先端ではんだを溶かすことができても、はんだが通過する加熱芯の温度が十分でないことがあります。ご面倒でも必ず5分間お待ちください。

②はんだの除去

△注意

- ポンプが動作しない時は直ちにノズルおよびヒーターのクリーニング・フィルターの点検を行ってください。
- ポンプカバーは必ず取り付けて使用してください。ポンプは高速回転しますので危険です。

- 除去する部品のリード線をノズルの穴に差し込んで加熱します。

ランドではなく、リード線とはんだを加熱するように心がけてください。ノズルを直接ランドにあてるとランドが剥離する恐れがあります。

- 接合箇所のはんだがすべて溶けたことを確認します。

リード線をノズルに差し込んだままで、軽くゆっくりとリード線を動かしてください。リード線が簡単に動けばはんだがすべて溶けたと考えられます。

- トリガーをひいて溶かしたはんだを吸引します。

フィルター等を付けずに吸引すると、ポンプが故障します。ご注意ください。

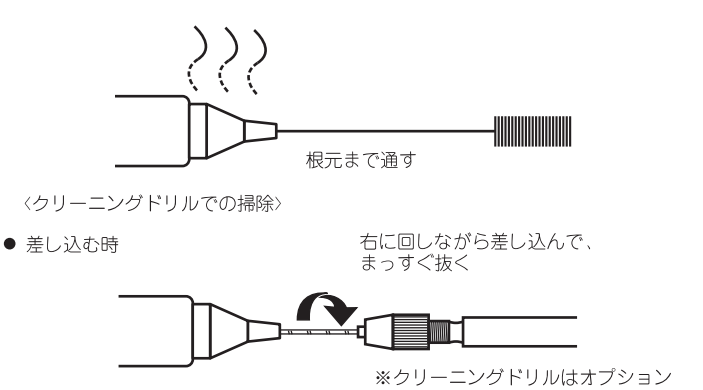
- 失敗した時は、新しいはんだでもう一度はんだ付けしてからやり直します。

③クリーニング

作業中のクリーニングは非常に重要ですので、頻繁に行ってください。また、本書の「メンテナンス」をお読みの上、定期的なクリーニングや消耗部品の交換を早めに行ってください。

- ノズルは、はんだこてのこて先と同様に、水を含ませたスポンジで汚れを拭き取ってください。また、収納時には、先端に新しいはんだをのせておいてください。
- 付属のノズル径にあったクリーニングピンでノズル孔内をクリーニングしてください。ノズルおよび加熱芯が高温の状態で行ってください。なお、高温につきご注意ください。
- フィルターパイプ内に溜まったはんだは捨ててください。内部に溜まったはんだは高温ですので、ご注意ください。
- フィルターの交換を行ってください。「メンテナンス」参照。

セラミックペーパーフィルター(L)は早めに交換してください。交換を怠るとポンプの性能低下や故障の原因となります。



④温度の設定

ハッコー808は380～480℃の範囲で設定温度を変えることができます。作業に応じた温度を設定してください。(はんだ除去に必要な温度は、基板の種類だけでは決められません。下表はめやすとお考えください。)

△注意

- ノズル温度の調節は、TEMP.部で行ってください。CALは動かさないでください。

基板の種類	設定のめやす(目盛)
片面基板	1～2
スルーホール基板	3～4
多層基板	5

- 一般的には温度が高いほど、ノズルの劣化は早くなります。
- ノズルの劣化が進行すると、ノズル温度が低下していきます。このような場合に設定温度を上げても、劣化を早めるだけです。劣化したノズルはお早めに交換してください。

■ メンテナンス

部品交換やクリーニングの頻度はご使用になる温度、はんだ、フラックスなどによって大きく変わりますので、下表をご参考のうえ、ご使用状況に応じて行ってください。

メンテナンス	
作業中	ノズルのクリーニング 溜まったはんだの廃棄 ノズルと加熱芯内のクリーニング
必要時間	部品の交換
定期的	ポンプ部のクリーニング

①部品交換のめやす

下表を参考に、部品を交換してください。交換部品はハッコー808の純正部品をご使用ください。純正部品以外の使用は性能低下や故障、事故の原因となります。

部品名	交換のめやす
プレフィルター	はんだが保持できない 変形している
セラミックペーパーフィルター(L)	染み込んだフラックスで硬くなっている
前ホルダー	穴が広がっている 硬化して気密性が悪くなっている
フィルターホルダー	硬化して気密性が悪くなっている
ノズル	はんだをはじく 先端部のはんだメッキがなくなっている 詰まっている 穴が浸食されて広がっている 温度が低い
加熱芯(ヒーター内部)	詰まっている 正常なヒーター(100V仕様)の抵抗値は、40～50Ω(23℃)です。
弁	ヒビが入っている
ダイヤフラム	破れている
内部ホース	フラックスで詰まっている 硬化して柔軟性がなくなっている 破れている

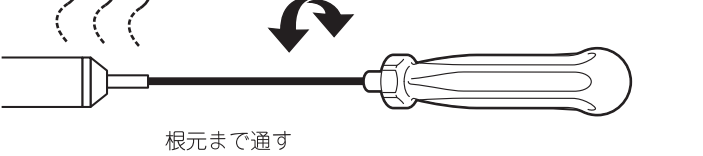
②部品交換とクリーニング

●ノズルとヒーター (加熱芯)

ノズル、ヒーター周辺は高温ですのでご注意ください。

- 付属のレンチで袋ナットをゆるめて、保護パイプとノズルを外します。

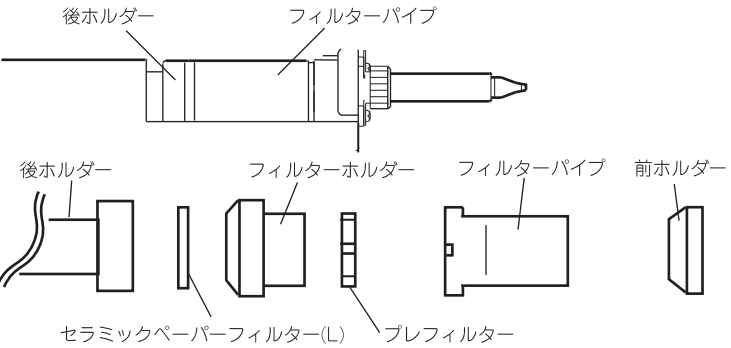
付属のヒーター用のクリーニングピンが根元までスムーズに通るように、孔内の酸化物などをかき落としてください。



●フィルターパイプ周辺

フィルターパイプ周辺は高温ですのでご注意ください。

- 後ホルダーを後方にひっぱり、フィルターパイプを外します。

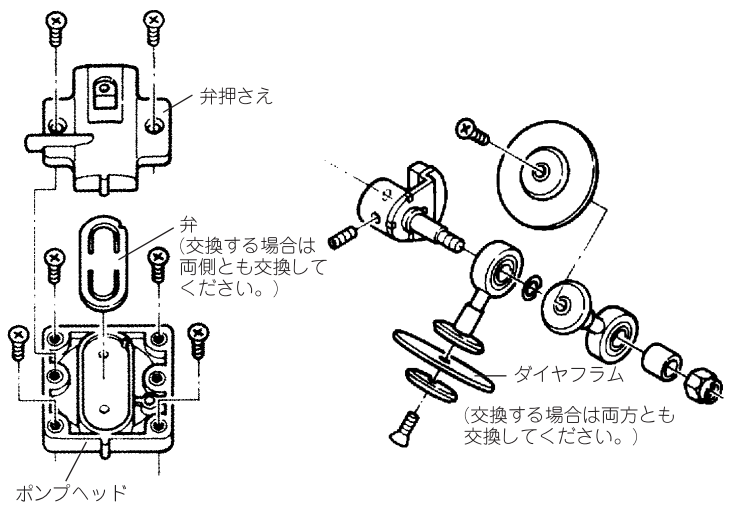


- フィルターとホルダーを点検します。
- 組み立て時、フィルターの付け忘れは、故障の原因となりますので、ご注意ください。

●ポンプ部

電源プラグをコンセントから抜き、十分冷えてから行ってください。

- ポンプカバー側面の化粧ねじをゆるめて、ポンプカバーを外します。
- 弁押さえを外します。

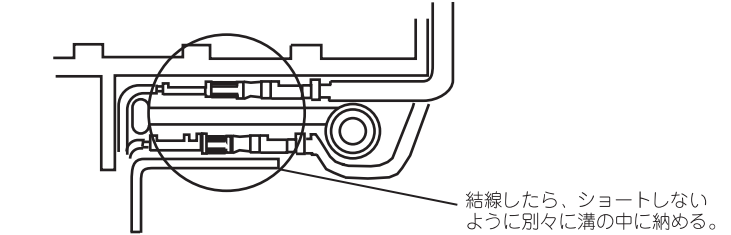


- 弁、弁押さえ、ポンプヘッドをアルコールでクリーニングします。弁の溝にポンプヘッドの突起をはめてください。弁押さえとポンプヘッドの外周部の突起を合わせてください。ダイヤフラムの取り付けは、たるみなくピンと張った状態で取り付けてください。

●ヒーター(加熱芯)の交換

電源プラグをコンセントから抜き、十分冷えてから行ってください。

- 付属のスパナで袋ナットを外して、フィルターパイプと前ホルダーを外します。
- ヒーター(加熱芯)の根元のねじ(3ヶ)を外します。
- 化粧ねじをゆるめて、ポンプカバーを外します。
- ハウジングをとめているねじ(3ヶ)を外し、ハウジングを外します。



- 端子を抜いてヒーターを交換します。
- 元通りに組立てます。
- 温度の校正を行います。ヒーターを交換した際には、温度の校正を必ず行ってください。校正を行わない場合、交換前の温度と違いが生じることがあります。

③温度校正

- 新しいノズルに交換します。すでに使用中のノズルは、劣化が始まっていると考えられるため、新しいノズルをご使用ください。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。(100V)
- 温度設定を最高にします。
- 5分間お待ちください。
- ノズル先端の温度を、はんだこて用のこて先温度計で測定します。温度が下がりますので吸引しないでください。
- 480℃になるようにCALを調整します。(時計回りで温度が上がります。)
- CAL調整を行って、ノズルの温度が変化するまでには数分かかることがあります。
- CAL調整により、設定温度を480℃以上にするると故障の恐れがありますので、決して行わないでください。



■ 故障とお考えの前に

症状	原因	処置
熱くならない	電源が正しく接続されていない	正しく接続
	ヒーターが切れている	ヒーター交換
温度が低い	温度の設定が低い	再設定
	温度校正が正しくされていない	再校正
ポンプが動かない	ノズルが消耗している	ノズル交換
	ノズル、加熱芯(ヒーター内部)が詰まっている	クリーニング
吸引力が弱い	フィルター部にはんだやフラックスが溜まりすぎている	フィルター交換
	フィルター部にはんだやフラックスが溜まりすぎている	フィルター交換
	エアーが溢れている	ノズル、フィルター周辺、ポンプ部ホースを点検
	ポンプ部の弁、ダイヤフラムが破損している	弁、ダイヤフラム交換

【注記】

ノズルや加熱芯また、フィルター部が詰まった状態でご使用になるとポンプがロックして動作しなくなることがあります。このような時はクリーニングなどにより詰まりを無くしてからご使用ください。

【修理について】

修理をご依頼の際は、下記についてお調べになったうえで、販売店、代理店までお届けくださいますようお願い申し上げます。

- ノズル、加熱芯が詰まっていますか。
- 弁がひび割れたり、欠けたりしていませんか。
- 前ホルダー、フィルターホルダーが変形したり、ひび割れたりしていませんか。
- プレフィルター、セラミックペーパーフィルターが汚れたり、変形していませんか。

中国RoHS: 製品中有毒有害物質や元素の名稱及含量

部品名稱	有毒有害物質や元素						
	鉛(Pb)	汞(Hg)	銅(Cd)	六價鉻(Cr(VI))	多環聯苯(PBB)	多環二苯醚(PBDE)	
馬達	×	○	○	○	○	○	
波鎗	×	○	○	○	○	○	
銅網	×	○	○	○	○	○	
發熱元件	×	○	○	○	○	○	
電路板	×	○	○	○	○	○	
插頭	×	○	○	○	○	○	

○：表示該有毒有害物質在該部件所有均質材料中的含量均在SJ/T 11363-2006標準規定的限量要求以下。
×：表示該有毒有害物質至少在該部件的某一均質材料中的含量超出SJ/T 11363-2006標準規定的限量要求。



白光株式会社

http://www.hakko.com

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号
TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

2009.10
MA00053XZ091022

Copyright © 2009 HAKKO Corporation. All Rights Reserved.